

国際水産・海洋都市函館のブランド化とグローバル展開

成果(技術)の概要



ガゴメ昆布、ウガノモク等からの最新の商品群



水産海洋 GIS の一例
(津軽海峡、噴火湾付近)


国際水産・海洋都市を目指す函館の周辺海域にのみ生育し、未利用資源であったガゴメ昆布の機能性に着目した研究成果から多くの商品が生まれ、その機能性を最大限に引き出すバイオファーミング(※テラーメード的生産)の発展と共に新たな製品群も増加し、現在、製品は約170品目、累計売り上げ約50億円を達成している。加えて新たにウガノモク等を見出し、既に多数の試作品を完成、一部は商品化されている。さらに、これらに含まれるフコキサンチンの機能性の詳細な解明を進めており、地域企業と本州大手企業による機能性食品素材の製品化に向けてグローバル市場を見据えた取り組みを進めている。

これらの新商品はもちろんのこと、従来から新鮮・高品質として評価を受けていた函館ブランドを強化し、国際的にも通じる科学的根拠を与えるための研究も進んでいる。

この地域の豊かで健全な海を持続的に活用するための沿岸海洋計測・予測の研究も進めている。人工衛星や多点测温ブイ(ユビキタスブイ)から得られる海域の情報を計測し、水産海洋GIS「Geographic Information System(地理情報システム)を海洋域に適用したもの」として漁業者に必要な情報を提供するとともに、将来はその海域環境の漁模様、養殖生育状況等の予測に結び付ける。この情報網は函館海域から全国に展開し、将来的にはグローバル展開を目指す。

※テラーメード的生産：利用目的に応じた計画的生産

地域(エリア)概要

地域(エリア)名	函館地域	 ライフサイエンス
実施事業名	地域イノベーション戦略支援プログラム(グローバル型(グローバル拠点育成))	
実施期間	平成21年9月～平成26年3月(予定)	
実施機関	産… 参画企業等：78社(平成23年6月現在) 学… 北海道大学、公立はこだて未来大学、函館工業高等専門学校、旭川医科大学、京都大学、北見工業大学、東京工業大学、木更津工業高等専門学校、前橋工科大学、小樽商科大学、北海道医療大学 官… 北海道立工業技術センター、(独)農林水産消費安全技術センター、 (地独)北海道立総合研究機構食品加工研究センター、(独)農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所	
中核機関(連絡先)	公益財団法人 函館地域産業振興財団 〒041-0801 函館市桔梗町379番地 TEL:0138-34-2600 FAX:0138-34-2602 e-mail:ohkubo@techakodate.or.jp	

製品化実績等

- 海藻(主としてガゴメ昆布)由来の機能性成分含有の食品及び化粧品
(平成22年度20品目、累計170品目)
- 量産型ユビキタスブイ(多点测温ブイ) 1件

今後の市場規模(見込み)等

- 海産物由来の食品、化粧品、トイレタリー等 : 300億円
- 高機能食品材料および工業材料等 : 1,200億円
- 食品品質安定化、安全性保証支援システム : 450億円
- 水産食品の生産一流通新技術及び情報発信技術 : 130億円